

# 愛知学院大学

Aichi-gakuin University

法学部  
同窓会会報

Vol.71 2013.1.1



## CONTENTS

愛知学院大学 日進キャンパス けやきテラス

- 2・・・ 定期総会・懇親会
- 4・・・ 奨学生からのメッセージ
- 5・・・ 新司法試験合格者の喜びのメッセージ  
「あしなが育英会」募金
- 6・・・ 暮らしの法律相談
- 7・・・ 「先生お元気ですか?」黒田喜重名誉教授
- 8・・・ OB講座「キャリアデザインと法学」  
法律・税務相談
- 9・・・ 地方同窓会
- 10・・・ OB・OG会合開催報告・人事(法学部関係)
- 11・・・ 同窓会と大学ホームページの紹介  
法学部同窓会 活動インフォメーション  
事務局からのお知らせ
- 12・・・ 愛知学院大学の大学院と学部・学科紹介
- 14・・・ クラブ活動成績  
インタビュー「宇城さん入賞おめでとう」
- 16・・・ リレー「私のふるさと」  
キャンパス紹介



# 定期総会・懇親会 開催

平成24年度定期総会・懇親会は、名古屋東急ホテルにて海や山が恋しくなる6月30日(土)に開催されました。定期総会は17時30分より3階葵の間で開催され、多数の会員の出席をいただき議案を審議の上ご承認をいただきました。

定期総会后、場所を同じフロアの『ルネッサンス』に移し懇親会が開催されました。

懇親会には、小出学院長、大野学長、服部学部長始め各先生、地方同窓会代表の方、会員とご家族合わせて250余名の出席をいただきました。懇親会では、懇親会恒例の大抽選会で例年の通り当選番号発表の都度歓声が上がリ皆一喜一憂しました。平成25年度は、大学日進キャンパス内での開催です。是非ご家族皆様さんの参加をお待ちしています。



## 懇親会の大抽選会

### 平成24年度お楽しみ抽選会 ECO(エコ)

1等	ダイソン掃除機 <small>東急 ロワール パティオ 券</small>	96. 175.	1本
2等	ダイソンテーブルファン 電動自転車	15. 99.	各1本
3等	精米機 イオンスチーマー	222, 71. 89, 23.	各2本
4等	野球観戦チケット(ペア)	199, 21, 102, 91, 134, 66, 73, 152.	8本
5等	全国宝くじ(10枚)	142, 122, 49, 145, 47, 176, 93, 151, 63, 123, 115, 7596, 67, 166, 160, 122, 154, 116, 136	20本
6等	高級ボールペンセット	206, 68	200本
特別賞	おせち(名古屋東急ホテル)	149	1本



やった! 当たった!

当選おめでとうございます!

### 1等 当選(ダイソン掃除機)

安江 務さん(昭和51年卒)

自分の番号が呼ばれた時の感想です。司会の方の90番台でドキドキして、96番と呼ばれ笑顔になりました。ありがとうございました。大切に使います。

### 2等 当選(ダイソンテーブルファン)

鈴木 慎太郎さん(法学部准教授)

卒業生の方と歓談していたところ、司会の方に名前を呼ばれ、なんと2等! 賞品は、2歳の娘にも安全で大変有り難いもの。大事にいたします。

### 3等 当選(精米機)

山田 宏司さん(昭和42年卒)

毎年、楽しみにしている同窓会に今年も孫と参加できました。今までは、参加賞ばかりでしたが、オリンピックの年に銅賞とは、ラッキー!でした。

# 総会報告

平成24年度定期総会は、三浦 利和広報部長が議長を務め、下記の第1号議案から第5号議案までを提議し、すべての議案が承認されました。

## 議 題

1. 平成23年度事業報告
2. 平成23年度会計報告
3. 監査報告
4. 平成24年度事業計画案
5. 平成24年度予算案



### 収 支 計 算 書

愛知学院大学法学部同窓会

自 平成23年 4月1日  
至 平成24年 3月31日

(単位：円)

科 目	平成23年度予算	平成23年度決算	増	減
<b>I 収入の部</b>				
前年度繰越金	210,730,855	210,730,855		
同窓会入会金・会費	14,220,000	14,160,000	-	60,000
大学院会費	262,500	262,500		0
受取利息	500,000	290,279	-	209,721
雑収入	150,000	1,562,000		1,412,000
合 計	225,863,355	227,005,634		1,142,279
<b>II 支出の部</b>				
連絡協議会費	300,000	300,000		0
総会費	3,890,000	3,766,940	-	33,060
会議費	800,000	769,557	-	30,443
奨学金	1,440,000	1,440,000		0
助成金	2,100,000	1,421,972	-	678,028
印刷費	2,100,000	2,080,089	-	19,911
通信費	1,400,000	1,306,393	-	91,607
人件費	3,700,000	3,667,508	-	32,492
旅費交通費	1,700,000	1,694,123	-	5,877
消耗品費	300,000	264,864	-	35,136
慶弔費	100,000	35,225	-	64,775
備品費	200,000	0	-	200,000
在学生育英費	600,000	598,738	-	1,262
名簿管理費	900,000	844,315	-	55,685
創立50周年記念事業費	17,500,000	12,860,584	-	4,639,416
雑費	60,000	22,417	-	37,583
予備費	500,000	0	-	500,000
合 計	37,560,000	31,074,725	-	6,425,275
次年度繰越金	188,363,355	195,930,909		7,567,554

### 第 4 号 平成24年度事業計画

今日本を取り巻くあらゆる状況は混沌としています。国内に目を向けると、情報化、国際化が一層進展し、格差の拡大、本格的な少子高齢化社会が到来するなかで、人々の意識や生活の多様化、個性化が進むなど、政治・経済・社会のあらゆる場面で、変化の潮流が生じております。

また、国外においては、世界各地で起きている地域紛争の平和的な解決、核や環境・食糧・人口・難民・人権問題など全人類の多くの課題を抱えております。また、頻りに発生する世界的な経済危機は、私たちにも多大なる影響を及ぼしてきております。私たちは遠い世界の問題としてではなく、これらを自らの問題として考えなければなりません。

このような情勢のなか、母校とともに歩む法学部同窓会は、人類の福祉と文化の進歩に貢献するための積極的な活動がますます重要となってまいりました。そこで今年度は、次のような諸事業を行ってまいります。

1. 母校および他同窓会との連携を図る事業
  - ・連絡協議会活動
  - ・他同窓会活動への参加
2. 同窓生相互の親睦を図る事業
  - ・定期総会・懇親会の開催
  - ・年1回の会報の発行
  - ・同窓会ホームページの充実
  - ・地方同窓会および支部活動への支援
  - ・同窓生相互の親睦への支援 (OB・OG会合助成)
  - ・在学生への援助・支援 (奨学金給付、OB講座等)
3. その他
  - ・地域での法律・税務相談の開催
  - ・同窓生への災害時のお見舞い

### 第 5 号 平成24年度予算

愛知学院大学法学部同窓会

(単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	198,930,909	連絡協議会費	300,000
学部入会金・会費	14,280,000	総会費	5,800,000
(注)		会議費	850,000
大学院会費	375,000	奨学金	1,440,000
受取利息	500,000	助成金	2,000,000
雑収入	150,000	印刷費	2,100,000
		通信費	1,400,000
		人件費	3,800,000
		旅費交通費	1,830,000
		消耗品費	300,000
		慶弔費	100,000
		備品費	100,000
		在学生育英費	600,000
		名簿管理費	900,000
		雑費	60,000
		予備費	400,000
		小 計	22,000,000
		次年度繰越金	189,235,509
合 計	211,235,909	合 計	211,235,909

(注) 学部入会金・会費は1本で計上する。(大学からの要請により)

総会にて各議題とも承認されました。

**今年はおあなたが1等当選者になるかも!**

**今年も下記の景品テーマで準備します。出席をお待ちしています。**

**平成25年度の総会・懇親会は**

**平成25年6月30日(日)に  
日進キャンパス 学院会館  
で開催します。**

恩師との再会を楽しみに…

同級生との再会を楽しみに…

いやいや大抽選会を楽しみに???

是非、ご家族でご参加下さい!!

※総会案内は5月中旬にお送りします。

「大抽選会」の景品のテーマは「ゆとり」

- 1等 プラズマクラスター(加湿空気清浄機)
- 2等 IHジャー炊飯器
- 3等 目もとエステ  
コーヒーマーカー  
プラズマクラスター(車載タイプ)
- 4等 野球観戦チケット(ペア)
- 5等 グルメ券
- 6等 デパート商品券

※景品は変更になる場合があります。

# 本年度法学部奨学生からのメッセージ

平成24年6月30日の同窓会総会に続く懇親会の席上で、平成24年度法学部同窓会の奨学金給付を行いました。奨学生は、在學生と大学院生から公募され、選考された奨学生に対して、同窓会から奨学金(年額24万円)が給付されました。



## 法務研究科3年 佐藤 由佳

この度は、平成24年度法学部同窓会奨学生に選んでいただき、誠にありがとうございます。現在、私が充実した環境の下で勉学に勤しむことができるのも、先生方をはじめ、法務研究科のスタッフ、大学関係者の方々のご支援のおかげです。ありがとうございます。今後も、奨学生という自覚と責任を持って社会に貢献できる法曹となれるよう、より一層頑張っていきたいと思います。



## 法務研究科2年 伊藤 理恵子

この度は、平成24年度法学部同窓会奨学生に選定していただき、誠に有難うございます。素晴らしい教授陣に恵まれたこの愛知学院大学で法学を学ぶことができ、感謝しています。また、理解を示し惜しみないサポートをしてくれる家族や友人に、感謝しています。奨学生に選ばれたという自覚と責任を持ち、より一層勉学に励んでいきたいと思っています。本当に有難うございました。



## 法律学科4年 橋本 佳尚

この度は、平成24年度法学部同窓会奨学生に選定して頂き、誠にありがとうございます。多くの奨学生応募者の中から私を選んで頂いたことを大変感謝しております。同窓会の皆様をはじめ、大学教授や講師の皆様、一緒に勉学に励んだ友人達、そして私を支えてくれた両親に感謝しております。これからも、奨学生という自覚を持って勉学に励んでいきたいと思っています。ありがとうございました。



## 法律学科4年 服部 史弥

この度は、平成24年度法学部同窓会奨学生に選定して頂き、誠にありがとうございます。多くの奨学生応募者の中から選んで頂いたことに大変感謝しております。私がこれまで大学生活を有意義に過ごせてこれたのは、両親や先生方、友人等の支えがあったものです。こういった方々との出会いに感謝し、奨学生としての自覚と責任を持ち、より一層これからも勉学に励んでいきたいと思っています。



## 現代社会法学科4年 大石 達弥

この度は平成24年度法学部同窓会奨学生に選定して頂き、誠にありがとうございます。このような御支援賜われますのも、学生生活でお世話になった先生方、法学部同窓会の諸先輩方を始め、関係各位の皆様方の御蔭と深く感謝しております。司法を学ぶのであれば法実務の分野に携わりたい、その想いを目標に現在も勉学に励む日々でございます。今後も奨学生としての責任を自覚し、目標達成の為精一杯努力させていただきます。



## 現代社会法学科2年 田中 大幹

この度は、平成24年度法学部同窓会奨学生に選定して頂き、誠にありがとうございます。多くの候補者の中から選んで頂いたことに心から感謝しております。私自身、法律を学び1年半ほどしか経っておりませんが、その中でも社会の基本的ルールである法律の重用性が理解できました。これからもさらにその理解を深め、奨学生として恥じぬよう努力をしていきたいです。

# 新司法試験(新66期)に合格 ~合格者の喜びのメッセージ~

平成24年9月11日、法務省より本年の新司法試験の合格者が発表され、本学法科大学院(ロースクール)修了者のなかから2名が合格しました。



## 生田 晃生 (いくた あきお)

私は、愛知学院大学法務研究科に2008年に未修者として入学し、この度、2回目の受験で司法試験に合格することが出来ました。

法科大学院在学中は授業はもとより、チューター弁護士による指導を受けることによって、司法試験の合格者と身近に接することができ、将来自分も法曹としてどのようなことをやっていくのかについて具体的に考えることができ大変刺激になりました。また、法律実務家による指導と言うこともあり、法曹として何が必要なのかを効果的に

学習ができたことも合格することができた要因のひとつであると思います。

法学部同窓会様におかれましても、予備校の模試の取りまとめをしていただき大変感謝しています。

今後は、法科大学院で学んだことを活かしてより良い法曹となれるよう精進していきたいと思います。



## 三浦 潤 (みうら じゅん)

1. 私は、大検取得後、慶應義塾大学の法学部法律学科に入学・卒業し、しばらくしてから愛知学院大学の法科大学院に進学しました。法科大学院卒業後、2回目の受験で新司法試験に合格することができました。選択科目は租税法で、成績は総合213番です。

2. 私が合格できたのは、多くの方のご支援のおかげです。皆様には心よりお礼申し上げます。とくに、法学部に関わりの深い方のご支援のおかげです。刑法の原田保

先生、会社法の服部育生先生、民法の田中淳子先生には家庭教師のように懇ろに指導していただきました。また、刑訴は石田倫識先生、租税法は小川正雄先生、水野恵子先生、村井正先生にひとかたならぬご教授をいただきました。学生を思えばこそのご指導であると感謝しております。ありがとうございました。また、法科大学院出身の加藤幸英弁護士や長谷川知正弁護士には勉強面や精神面で大変お世話になりました。

3. 私は、会計や税法への興味を活かして、今後は、地元愛知県で税務も法務もワンストップで解決できる弁護士として活躍していきたいです。幸い、愛知学院大学卒業生には税理士資格を取得され、仕事をしておられる方が多くおられると聞いております。将来はこういう先輩方と一緒に仕事ができれば、とても嬉しいです。早く一人前になって、愛知学院大学法科大学院の名声を高めると同時に、福沢諭吉のように、わが国のパブリックを民間から支えていけるよう努力していきます。それから、学資を援助してくれた彼女にもせっせとお金を返していきたいと思います。(笑)

## 「あしなが育英会」募金

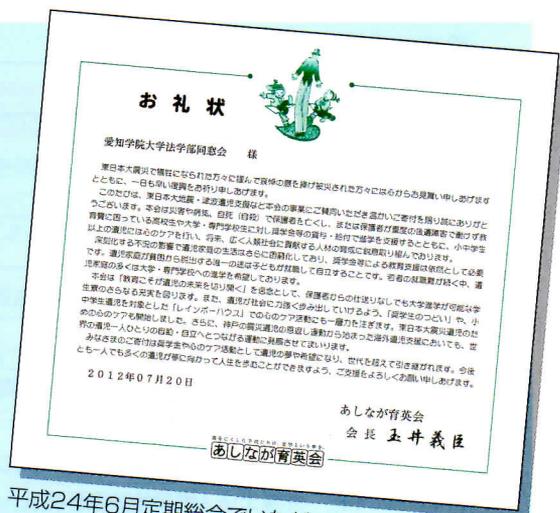
平成23年3月11日の東日本大震災において、被災にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、犠牲になられた方々のご遺族に対し、深くお悔やみ申し上げます。

法学部同窓会では、この地震をきっかけとし、総会や周年記念事業が行われる時に「募金」を募ることとし、いただいた募金は「あしなが育英会」にお届けすることといたしました。(当同窓会ホームページにて募金の報告をしています。)

平成24年6月30日(土)定期総会でいただいた募金は、「あしなが育英会」にお届け、育英会から「お礼状」をいただきました。

法学部同窓会は、今後も「あしなが育英会」募金活動に努めて参りますので、引き続き皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

\*「あしなが育英会」は、「どこかの誰かが、どこかの遺児にいくらかのお金を、育英会を通じて贈る」という奨学金機関です。



平成24年6月定期総会でいただいた募金のお礼状です。



本学卒業生弁護士による

始めまして、弁護士の鈴木亮と申します。

私は、愛知学院大学法科大学院の第2期生であり、現在は、愛知県弁護士会所属の弁護士として活動をしています。

さて、第2回目は、「遺言」をテーマにお話します。

「遺言」とは、亡くなった人の財産などの取扱いに関する、その人の生前における意思表示です。日常用語としては、「ゆいごん」と読みますが、法律用語としては、「いごん」と読みます。

遺言は、亡くなった人の意思を現在の法律関係に反映させるという重大な効力をもっているため、安易な偽造等を防ぐために、必ず、一定の様式に従って作成しなければ効力を生じません。

民法は、7種類の遺言方法を定めていますが、最も簡単に作成可能なのが、「自筆証書遺言」です。そこで、以下、自筆証書遺言の作成方法を説明します。

①まず、遺言をする本人の手書きによる書面であることが必要です。テープレコーダーへの録音や、ワープロでの作成は、無効です。

②そして、遺言の内容と、作成年月日を記載します。「○月吉日」等、明確な日付が分からない書き方は無効です(ただし、「○回目の誕生日」など、歴日が正確にわかる表示であれば有効です。)

③最後に、本人の署名、押印が必要です。署名は、本名でなく、芸名や屋号であっても、その人だと確認ができれば有効です。押印は、拇印(指印)でも有効だとされています。

遺言は、人生の集大成として老後に作成されるという一般的なイメージがありますが、法律上は、満15歳以上であれば、有効な遺言を作成できます。

また、遺言は何度でも作成することが出来、2つ以上の遺言が存在するときは、作成年月日の新しいものが有効となります。



法の女神「テミス」の像

本学卒業のOB弁護士 (敬称略)

氏名	所属先	住所	電話番号
鈴木 健治	鈴木健治法律事務所	名古屋市西区城西 1-8-16 杉浦ビル 2階	052-532-8320
村田 武茂	村田法律事務所	名古屋市中村区名駅 4-17-3 メイヨンビル 8階	052-561-1785
野々垣 吉曜	佐賀千恵美法律事務所	京都市上京区丸太町通堀川西入北側西丸太町 171 中西ビル 3階	075-841-6730
加藤 幸英	たち城総合法律事務所	名古屋市中区丸の内 2-18-25 丸の内 KSビル 14階	052-223-1701
鈴木 亮	あすなろ法律事務所	名古屋市中区丸の内 2-1-37 エスパシオ丸の内 3階	052-201-7391
早川 雄一郎	弁護士法人愛知しらかば法律事務所	岡崎市六名本町 6-5 村越ビル	0564-53-5675
堀田 泰成	浅賀法律事務所	名古屋市中区丸の内 2-8-11 セブン丸の内ビル 4階	052-232-7860
菊田 直樹	中京法律事務所	名古屋市中区丸の内 3-19-5 FLEZIO LA 9階	052-950-5355
山本 英季	浅賀法律事務所	名古屋市中区丸の内 2-8-11 セブン丸の内ビル 4階	052-232-7860
吉田 光利	弁護士法人春日井法律事務所	春日井市鳥居松町 5-78 名北セントラルビル 6階	0568-85-4877
長谷川 知正	みのり実法法律事務所	名古屋市中区丸の内 2-1-37 エスパシオ丸の内 3階 8A	052-202-8838

夏の名残りの太陽が照りつける日進キャンパス。平成24年に75歳を迎えた黒田先生は、学院会館までの坂道を足取りも軽やかに登ってこられた。ご退職から3年、歴史を訪ねて史跡や博物館・美術館めぐりの日々を過ごされている先生に、45年におよぶ愛知学院大学在職中の思い出を中心にお話を伺いました。

## 法学部45年間の思い出

黒田先生をよく知る人は、先生を「決断の人」と評する。それを物語るのが、1960年代に大学紛争が社会問題化する中でおきた出来事だ。1968年、先生はゼミ生からアメリカンフットボール部の創部にあたり部長になってほしいと依頼され快諾。翌年、愛知学院大学では学生の自治組織である「学友会」の先導で、アメフト部などいくつかのクラブ部員による学生集会への乱入騒動が起きた。この時、黒田先生はアメフト部の活動停止を即刻決断された。この事件は新聞等でも報道され、一部の学生には休学処分が下されたが、アメフト部に関しては素早い活動停止が竹田学院長(当時)から評価され、間もなく活動再開が許された。黒田先生の迅速な決断が廃部という最悪の事態を救ったのである。

法学部長時代の思い出の一つは、「現代社会法学科」の増設である。就任3年目の2000年、それまでの1学科から2学科への増設計画が持ち上がった。先生は時代のニーズに対応する学科を創ろうと熟考を重ねられた。政治学科、不動産学科、企業法学科などの候補があがったが、最終的には経済や商業、政治にも結びつき、時代が変化しても普遍性を持つ「現代社会法学科」に決定、2002年4月からスタートさせることができた。

法学部長として大きな仕事を成し遂げた先生を待っていたのが、大学院の栄サテライトセンターの初代所長の任務である。発端は大学院のあり方を検討する委員会委員として、「広く社会人にも門戸を広げるためには、交通の便が良い名古屋市内にサテライトを設置するべき」と提案したことにある。2003年4月、中区栄の丸善ビル(後に中日ビルに移転)に開設されたサテライトは、税理士をはじめとして高度専門職業人の養成に特化した実践的な教育機関として評価されている。

組織の長として責任の伴う仕事を担い、成功に導いた黒田先生だが、「周囲の協力のおかげです。皆が問題に真剣に取り組んでくれ、大きな問題も起きず平穏に努めることができました」と、自身の功績を周囲への感謝として語る。



## 博物館・美術館めぐりを楽しむ日々

生まれつき身体が弱く、幼少期には生死にかかわる病氣も体験した黒田先生だが、1965年に名古屋に居を移してからは一転、病氣とは無縁に。「名古屋の水が私に合ったのかもしれないね」と微笑まれる。在職中から励行につとめた身体と神経(五感)を動かす心身一如の生活信条は今も変わらない。尽きぬ関心の的である歴史への想いはさらに高まった。博物館や美術館めぐりはライフワークとなり、飽くことなく鑑賞される。旅行のプランニングから手配までを自身で手掛け、今年の夏は奥様と2人、寝台特急「北斗星」で函館に。昨年は長崎、その前は萩と、旅を通して街の持つ歴史と文化を楽しまれた。

6人兄弟の末子として誕生した先生は、生来の病弱も相まってご両親の愛と手厚い庇護を受けられた。一方で、ご兄弟と共に遊び興じる機会が少なく淋しい子供時代を過ごされたようだ。そうした境遇からか、歴史上の人物で魅かれるのは、幼少時代に苦勞をしながらも長じて事を成した傑物が多い。中でも徳川吉宗や聖徳太子などに強い共感を覚え、模範とされてきた。「何かを成し遂げようとするときに大切なのは、明確な目的を設定して進むべき方向性を定めることであり、トップの役割はそこにあります。それができれば、実現のための手段は皆が考えてくれます」

「目的を明確に、決断は早く」。歴史に学びつつ培ったトップとしての理念。その磁力が黒田先生の周囲に多くの協力者を引き寄せたのだろう。

## プロフィール

昭和12年2月14日生  
昭和40年 早稲田大学大学院修士課程修了  
同 4月 愛知学院大学助手  
昭和43年 愛知学院大学専任講師  
昭和46年 愛知学院大学助教授  
昭和53年 愛知学院大学教授  
平成5年～9年 愛知学院大学宗教法制研究所所長  
平成7年～9年 文部省学術審議会専門委員  
平成9年～13年 愛知学院大学法学部部長  
平成10年～20年 名古屋地裁・同簡裁 民事調停委員  
平成15年～19年 愛知学院大学大学院栄サテライトセンター所長

平成16年～19年 愛知学院大学大学院法学研究科長  
平成18年～24年 日進市開発等事業紛争調停委員  
平成22年 愛知学院大学名誉教授

## 著書

◆借地借家法(成文堂、1975) ◆債権各論ノート(成文堂、1976・1980)  
◆判例コンメンタール(共著)(三省堂、1977・1991)  
◆講義 債権総論(共著)(青林書院新社、1981)  
◆現代不法行為法学の分析(共著)(有信堂、1997)  
◆未来民法を考える(共著)(法律文化社、1997)  
他学術論文・判例研究多数あり

法学部卒業生のOBが講師となって、自分の職業と法学の関係を語る講座「キャリアデザインと法学」が今年度も春期に開講され、学生から高い評価を受けました。この講座は法学部同窓会が大学に協賛して実施するもので、今回で9回目となります。

### 平成24年度において講義していただいたOB(敬称略)

講義日	テーマ	講師	ジャンル	
4/18	地域金融機関と私	伊藤 和美	金融関係	愛知銀行 常務取締役
4/25	地域主権時代と地方公務員の仕事	大森 康江	公務員(行政職)	大口町役場 主幹 監査委員事務局 次長
5/2	間違いだらけの会社さがし・仕事えらび	福田 一夫 田中 政考	住宅デベロッパー	積水ハウス株式会社 中部第一営業本部 総務部長 積水ハウス株式会社 名古屋シャワード住宅支店 神宮東店 店長
5/9	土地家屋調査士は不動産登記の専門家 ~手に職をつけよう~	小島 篤実	土地家屋調査士	小島測量登記事務所 所長
5/16	広告に携わる人たち ~あつたしも?えっあなたも?~	加藤 智生	広告代理業	中電興業株式会社 アド・サービス部 次長
5/23	ニュース深ヨミ、先ヨミ、裏ヨミ~答えは新聞にある~	松野 幹郎	マスコミ	岐阜新聞社 編集局編制本部整理部 主任
5/30	司法書士の仕事について	植松 令子	司法書士	植松令子司法書士事務所 所長
6/6	不動産と法律および経済について	北村 忠和	不動産業	株式会社北和不動産 代表取締役
6/13	ディレクターの仕事 ~視聴率の取れる番組を作る!~	藤本 純子	マスコミテレビ番組制作	フリーディレクター
6/20	弁護士となって	堀田 泰成	弁護士	浅賀法律事務所
6/27	刑事のやり甲斐(警察官の仕事)	山内 和久	警察	愛知県警察本部 刑事部 捜査第三課長
7/4	消防の仕事について	梅村 政孝	消防	中村消防署 消防第二課長
7/11	“教師”という仕事の魅力	長谷川加奈子	公務員(教員)	名古屋市立植田中学校教諭

## キャリアデザインと法学とは???

### 講座の目的

今日の社会は急速に変容しており、3万種ともいわれる職業の種類においても、仕事内容においても、めまぐるしく激変しているのが実情です。

そこで学生達は、自分がどのような職業に向いているのかを判断する材料を獲得するのが、非常に困難になっています。

結果的には、全国のどこの大学においても、就職はしたがすぐにやめざるをえないとか、就職活動が熱心にできないなどという、傾向が現れています。

愛知学院大学法学部と法学部同窓会は、このような事態に対処するために、先輩たちの社会での職業のありかたと、それを担う姿を、学生諸君が大学の授業の中で見聞することが必要であると判断しました。

先輩たちの社会での活動を先輩の生(なま)の声で触れるなかで、学生達には、自己の将来を深く考えてもらいたいというものです。



### 授業の内容 スケジュール

OBによる講義は、合計13回行われます。講師は、同窓会の先輩が担当し、毎週違った講師が登場し、自分の職業と法学の関係を語ります。職業は、弁護士、税理士、公務員、金融業、製造業、建設業、サービス業、販売業など、多岐にわたり幅広い分野で展開されます。

無料

## 法律・税務相談

法学部同窓会主催 無料法律・税務相談を開催しました。

- 開催日：平成24年11月10日(土)
- 場所：愛知県みよし市三好町 みよし文化センター サンアート
- 相談件数：12件
- 相談内訳：隣地境界 2件、借地借家 3件、離婚 2件、  
遺産相続 1件、金銭貸借 2件、贈与 1件、その他1件



# 地方同窓会

愛知学院大学同窓会は、地方でも活動しています。そんな地方同窓会総会の模様をレポートしてもらいました。

## 関西同窓会

### ■開催日:平成24年9月2日(日) グランド白楽天

9月2日(日) 関西同窓会懇親会に出席いたしました。大学側の代表として酒井キャリアセンター部長が出席され大学の近況の報告がありました。総勢で約30名の出席があり先輩・後輩が久しぶりに顔を合わせ懇談する風景はいつ見てもいいものです。私も旧知の顔を見つけ、久方ぶりの歓談に時の経つのも忘れるほどに和やかな時間を過ごさせていただきました。これからも本部同窓会と地方同窓会の連携を密にしていきたいとの想いを胸に帰ってまいりました。



大矢 孝彦(S42年卒)

## 広島同窓会

### ■開催日:平成24年10月6日(土) ホテルグランヴィア広島

10月6日(土) 広島同窓会に法学部同窓会として渉外部員の四井さんと私が出席致しました。大学の代表として黒神先生が名城公園近く(名城公園キャンパス)に一部学部が移転するための準備・工事が進んでいる事等現在の大学の様子を挨拶の中で話されました。はじめて広島同窓会に出席した人の紹介・何年ぶりかでの出席した人などの紹介があり久しぶりに顔を合わせた同窓生で宴は盛り上がり楽しい一時を皆すごしました。同窓会の集まりっていつも思うのですが私自身そうなのですが、おしゃべりしていると心はタイムスリップして、学生時代に戻っているのですね。平成25年に広島同窓会は25周年の記念の年になるそうです。ここまでこの同窓会のために頑張ってくれた世話役の人たちに敬意を表し、周年記念に向けて、もっともっと参加者が増えていくことを望み、私と四井さんは楽しく過ごした時間を思い出しながら帰ってきました。

伊藤 桂子(S45年卒)

## 関東同窓会

### ■開催日:平成24年10月27日(土) 三笠会館

出席者が平成23年より7~8名多く盛大に開催出来た旨の前澤会長挨拶の後、大野学長より大学の近況報告と挨拶があり、本部同窓会を代表し余語商経会会長、来賓紹介に続いて乾杯、懇親会に入りました。関東同窓会は永年関東に居住する人、人事移動により近年関東に勤務する人等各地方出身者も多く、大和証券執行役員刈田さんも現在東京本社勤務であり出席されました。ビンゴゲームで楽しみ非常に和気あいあいとした楽しい懇親会でした。 刈田 勇喜致(S39卒)

## 山陰同窓会

### ■開催日:平成24年10月27日(土) 松江東急イン

出席者50余名全員での記念写真撮影で山陰同窓会創立45周年記念懇親会が開始。三上伸二氏(法卒)の司会により開会宣言、中垣初男代表幹事(商卒)の主催者挨拶、来賓紹介、来賓挨拶(大学から引田弘道部長、同窓会から吉田美恵子文学部・心身科学部同窓会会長)があり、私の乾杯の音頭により歓談に移る。宴半ばに高校1年生でプロ演歌歌手を目指している「八田保乃香さん」の「歌謡ショー」「安来節保存会」の「安来節どじょう掬い」が演じられ、会場は大いに盛り上がった。出席者の中に八田さんの高校先輩がいて、愛知学院大学への受験を誘っていた姿もみられた。ショー終了後、お楽しみ抽選会(平成24年は45周年の事も豪華な景品)が行なわれ、荒木文之助幹事(商卒)の閉会のことば、校歌斉唱、木村公二商経会副部長の万歳三唱へと続き、この会が50年、60年と続く事を祈念して終了した。



伊藤 照夫(S48年卒)

## 四国同窓会

### ■開催日:平成24年11月10日(土) ロイヤルパークホテル高松

大学側を代表され入試センター部長引田弘道先生が出席されました。本部同窓会から、商経会 総務部副部長 太田善久さん、文学部・心身科学部 会長 吉田美恵子さん、事務局 長 富田充さん、歯学部 副会長 野村和男さん、広島同窓会、山陰同窓会、関西同窓会からも出席され、約40人参加のもと盛況に開催されました。四国と言ってもとても広く、出席するには泊らなければならない人もあり出席者の方も大変だと感じました。懇親会は、先輩後輩の垣根を越えて盛り上がり、学生時代にタイムスリップしたような有意義なひと時を過ごすことができました。平成25年には創立20周年とのこと、今回以上に多くの会員が出席していただけることを願っております。最後は校歌を歌って、散会となりました。



中津 範明(S51年卒)

## 岐阜県同窓会

### ■開催日:平成24年11月10日(土) 各務原市産業文化センター「ぶるうすかい」

岐阜県同窓会総会後のレセプションに出席しました。レセプションはいつものように校歌斉唱から始まり、丹羽英之岐阜県同窓会長の挨拶の後、大野榮人学長の挨拶、同窓会を代表して加藤 勇法学部同窓会会長が挨拶をし、丹羽会長から、平成25年には岐阜県同窓会創立20周年となる記念事業を行う予定との話があった。続いて福西名誉会長の音頭による乾杯があり歓談をし、アトラクションでは、プロの三味線演奏と歌唱があった。あとは楽しいビンゴ抽選会をし、次回の再会を約束しお開きとなった。和気藹々とした有意義なひと時であった。出席者数約30名でした。 加藤 勇(S38年卒)

# OB・OG会合 開催報告

「OB・OG会合」とは法学部同窓会会員が5人以上籍をおく、会またはグループで、法学部同窓会会長が「OB・OG会」として認めたもので、法学部卒業生がゼミナール・卒業学年・クラブ・サークル・職場・在住地域で交流する会またはグループの会合です。OB・OG会を開催された時、出席者1名につき、2千円を助成します。(限度額があります。詳しくは同窓会事務局へお問い合わせ下さい。)



## 第1回 帆立会総会／平成23年11月26日(土)

はんりゅうかい  
平成23年11月、鈴木慎太郎ゼミの初のOB・OG会が行われました。鈴木ゼミの1期生である私達と在学中の学生達が集まりました。各々近況報告をし、社会に出て感じた事、考えた事を話し合いました。しかし、OB・OG会という事で一番話が盛り上がったのは、ゼミでの思い出話。先生も相変わらず、ゼミ合宿での失敗談など楽しく話すことができ、久しぶりに大学生に戻れた気分でした。積もる話も多々あり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。今回、来れなかった卒業生、現ゼミ生も多く残念でしたが、計画して頂いた方々には感謝の気持ちでいっぱいです。進むべき道はそれぞれ違うけれど、「一日一日切磋琢磨しよう!」と語り合えた素晴らしい会でした。

井上 琢也(H23年卒)



## 第3回 叟々会／平成24年1月25日(水)

そうそうかい  
雪の為、新幹線に遅れが出る寒い新年の1月25日、名駅南の「舞鶴館」にて、第3回「叟々会」を催した。東は埼玉の蕨市、東京からは恩師の鈴木先生にもはせ参じて頂き、少人数乍ら、12名の面々が揃った。幹事安藤君の司会で、会長の挨拶、恩師からのお言葉の後、元気な声で、全員の乾盃の発声があり、鍋料理を囲んでの懇談会へと進んだ。司会者の本日のメイン・ディッシュは、参加者一人ひとりのスピーチですとの注釈があり、順次、学生時代の話、現在の健康・家族の事、現在携わっている事業、公職の事、趣味の話し等、卒業してあつと言う間の50年であったが、各々の話しには、各人の人生模様がかい間見える感じで、3時間程の限られた時間であったが、会は大いに盛り上がり、春には恩師「浪川先生」への報恩感謝の意味も込め、三回忌の墓参をすることを約し、閉会となった。

岡本 弘道(S36年卒)



## 伊藤ゼミOB会30周年記念 北海道旅行／平成24年7月14日(土)

伊藤ゼミOB会30周年記念旅行が7月14日開催されました。25周年は鹿児島の旅でしたが、今回は伊藤英樹先生が若い頃過ごされた北海道を訪れるということで、喜寿のお祝いを兼ねての楽しい旅となりました。参加者は奥様含めて13名。新千歳空港に集合した後、海鮮丼などを食べて夕張から札幌ビール園。翌日ニュー積丹号に乗船して海中見学した後、ニッカウヰスキー余市蒸留所にて樽出し原酒などを試飲(?)名所・旧跡を見学した後、小樽の朝里温泉クラッセホテルにて祝賀会を行いました。北海道のグルメを堪能された先生は、「皆さんに喜寿の祝いをしてもらおうとは思わなかった。良い思い出が出来ました。皆さんも身体には充分気をつけてほしい。」とのお挨拶があり参加者一人ひとりの思い出が語られ、笑いが笑いを呼び賑やかな会となりました。翌日は、小樽の街を散策して新鮮な魚貝類と寿司を満喫した後、支笏湖で甘いとうもろこしを食べて思い残すことなく北海道を後にしました。

鈴木 厚司(S56年卒)



## 居住地・地区で交流する仲間の会／平成24年7月25日(水)

職種がほぼ同じで居住地・地区で交流する仲間の会です。平成24年7月25日に証券会社、投信会社等に勤務する仲間が集まり暑気払いを兼ねて日本の政治、経済状況やヨーロッパ中心の世界経済について色々意見交換を行ないました。関東に在住する法学部出身者は多数いますが我々の様に定期的に会合をOBベースで開催し親睦を深め、グローバルの視野で物の事を考えられる卒業生は珍しいと自負しています。私が最年長ですがメンバーは欧州大手の証券会社、大手投信会社の副本部長、名古屋の大手証券で現在関東居住の副社長やM&Aビジネスを展開する大手証券会社等世界をリードする卒業生ばかりです。私も今年60才になりますがいつも若手からバイタリティーと創造性を吸収しています。因に、この会の幹事は常に三輪が勤めています。この会に参加したい関東居住の方々は是非三輪まで御一報下さい。業種は問いませんよ。

三輪 雅雄(S50年卒)



## 石田ゼミ同窓会／平成24年9月22日(土)

平成24年9月22日に、平成22年度の学生時代を石田ゼミで共に過ごした仲間達が久しぶりに再会しました。全員が参加することは叶わなかったのですが、それでも14名が集まり賑やかなものとなりました。皆が大学を卒業し社会人になってからの再会だったので学生時代とはまた違った会話をすることができ、新鮮な気持ちで楽しむことができました。このような集まりは今回初めて行ったことなので来年以降も続けていき、石田ゼミでの恒例行事になればと思っています。

大澤 誠也(H24年卒)

### 人事

(法学部関係)

#### ■新任 (平成24年4月1日付)

法学部 民法  
法学部 行政法・地方自治法・政策法務  
法学部 民法

佐藤 啓子(教授)  
小林 明夫(准教授)  
前田 太郎(講師)

#### ■退職 (平成24年3月31日付)

法学部 民法 伊藤 栄寿(准教授)  
法学部 行政法 府川 蘭子(講師)

#### ■昇任 (平成24年4月1日付)

法学部 法哲学 鈴木 慎太郎(准教授)

同窓会ホームページでは、各種お知らせや地方同窓会、総会のご案内などを随時更新しています。会報のバックナンバーや、大学・同窓会主催行事の写真なども閲覧できます。また、より親しみを持っていただくこと、同窓生や在学生からの記事・写真投稿の場を設けています。久しく連絡の取れていなかった同士とのつながりが同窓会ホームページをきっかけに始まることも…。企画や投稿方法など詳しくは同窓会ホームページ内に記載しておりますので、どしどしご応募ください。

大学ホームページではこのたび facebook ページを立ち上げました。当日の出来事や各種催事情報がタイムリーに更新され、コメントすることも可能です。毎日チェックしてみてください。



大学HP トップページ



大学facebookページ

同窓会ホームページ：<http://www.agu-houdoso.org/>

大学ホームページ：<http://www.agu.ac.jp/>

大学facebookページ：<http://www.facebook.com/aichigakuin>

## 法学部同窓会活動インフォメーション

### 法学部同窓会 部局別事業計画

法学部同窓会では、理事会・常任理事会・各部局会議が随時行われ、同窓生の親睦と交流、大学の発展に寄与するため、活動を行っています。平成25年度におきましても、事業計画を円滑に推進しさらに同窓会活動が進展していくよう活動していく予定です。

#### 事務局

- 諸会議の実施 ●会員名簿の管理 ●OB講座の充実
- 無料法律相談会の実施

#### 財務部

- 資産の効率的かつ安全的運用の検討
- 予算・決算の検討

#### 渉外部

- 総会の開催
- 地方、支部同窓会および OBOG 会との連絡調整・助成

#### 文化部

- 学術書出版者、大学院法研会への助成
- 同窓会奨学金の給付 ●在学生育英事業

#### 広報部

- 同窓会会報の発行
- 法学部卒業生向けメッセージパンフの発行
- ホームページの管理・運営

#### 連絡協議会

- 大学・各学部組織された他学部同窓会との連携

#### 監事

- 会計監査

## 法学部同窓会 事務局からのお知らせ

皆様のお名前・住所・勤務先・電話番号等変更の場合は、ハガキ・FAXで法学部同窓会事務局へご連絡ください。

あなたの力を貸してください。同窓会活動に参加してみませんか!!  
同窓会活動はボランティアで成り立っています。いま、同窓会役員を募集しています。  
詳しい応募の方法は同窓会事務局にお問い合わせください。

### 個人情報の取り扱いについて

- 同窓会事務局への電話等の問い合わせについて……………  
同窓生の住所・電話番号・ゼミ名等の個人情報は、お答えしません。

- 同窓会・クラス会・OB会など開催するために、  
該当者の住所など、個人情報が必要な場合は、  
同窓会事務局へお問い合わせください。

個人情報保護法の趣旨に則り、同窓生の個人情報については慎重かつ適切に処理してまいりますので、皆様のご理解の程をお願い致します。

### 事務局業務時間について

月～金/9:00-16:00 土、日、祝日はお休みです。

#### 法学部同窓会事務局

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12  
電話 0561-73-1111(内線 2303) FAX 0561-74-1410  
メール houdoso@dpc.agu.ac.jp

# 愛知学院大学の大学院と学部・学科

同窓会報前号でも取り上げましたが、愛知学院大学は名古屋城東・国立名古屋病院北に「名城公園キャンパス」を平成26年4月に建設し、そこには新たに開設する「経済学部」と、既設の「商学部」「経営学部」が移転することになるそうです。

2002年、法学部に現代社会法学科が増設されてから12年。その後、大学はおおくの新学部・新学科を増設するなど、母校の学習環境は年々変化しています。

そんな最近の大学院と学部・学科を、大学のパンフレットから探ってみました。

人生の再チャレンジのためご自身の大学院入学や、ご子息ご息女の母校への進学参考になさってください。

※詳しい資料が必要な方は、「大学入試センター」へご請求ください。Tel.0561-73-1111

## 大学院

### すべての学部に対応した研究科

社会・経済の高度化、複雑化が進む現代において、専門的な研究・教育へのニーズはますます高まりつつあります。

大学院には「研究者養成」だけでなく、高度な専門的職業人の養成、社会人の再教育などさまざまな役割が求められています。

中部地区有数の規模を誇る愛知学院大学では、既存のすべての学部に対応した研究科を設置。

少人数演習方式による全人格的な教育体制を整備し、専門的な理論と実践力を社会に活かせる人材を育成しています。

<b>法務研究科 (法科大学院)</b>		豊かな人間性と幅広い見識、高度な専門的知識を備えた法曹、地域市民のための法曹、地域経済を支える法曹の育成をめざしています。「図書館情報センター・法科大学院棟」に各研究施設を整備。法務研究科の学生は、法律に関する専門書の閲覧など24時間利用可能です。
<b>文学研究科</b>	<b>宗教学仏教学専攻 博士課程 (前期・後期)</b>	仏教・禅・宗教の3分野に重点を置き、各種原典、外国文献、古典文献などの読解を通して各分野の研究を深めます。利用できる文献は質・量ともに中京地区随一。さらに禅研究所などの施設を使って質の高い研究を行うことができます。
	<b>歴史学専攻 博士課程 (前期・後期)</b>	日本、東洋、西洋、イスラム圏、それぞれの世界の歴史および考古学を研究します。文化史、社会経済史、政治史など一人ひとりのテーマに応じて歴史の諸相について研究し、幅広い分野に貢献できる力を育成します。
	<b>英語圏文化専攻 博士課程 (前期・後期)</b>	欧米はもとより、東・東南・南アジアなどの環太平洋地域における英語圏文化を広い視野から探究。英語学・英語教育学研究、アメリカ研究、イギリス研究、アジア研究などをそれぞれの分野の第一人者の指導のもとに進めることができます。
	<b>日本文化専攻 博士課程 (前期・後期)</b>	日本語学・文学・社会学・民俗学・文化人類学など、幅広い分野から日本文化を探究。世界に向けて日本文化の総合的発信ができる学際的な研究を進めています。また、積極的に外国人留学生を受け入れ、日本文化への理解を促しています。
<b>心身科学研究科</b>	<b>心理学専攻 博士課程 (前期・後期)</b>	「心の支援」を行う臨床心理士の養成をめざし、心理学の各分野から障害児教育、養護訓練法などの実践的な研究まで幅広いテーマを用意。特に社会心理学、人格心理学、発達心理学、実験心理学、臨床心理学の研究に注力しています。
	<b>健康科学専攻 博士課程 (前期・後期)</b>	健康を「心身ともに健やかで、社会的にも活力のある状態」ととらえ、健康スポーツ科学、健康教育学、生命健康科学、言語聴覚科学、健康栄養科学の5コースを設定。健康科学の高度な教育と研究に尽力し、専門職業人と研究者を養成します。
<b>商学研究科</b>	<b>商学専攻 博士課程 (前期・後期)</b>	高度な専門性が求められる分野の人材育成、教養豊かな優れた職業人の養成機関として、産業界の期待に応えて社会人にも門戸を開放。理論と実務を融合させる研究の場を提供し、社会人のリカレント教育(生涯教育)を推進しています。
<b>経営学研究科</b>	<b>経営学専攻 博士課程 (前期・後期)</b>	社会の要請に応えるマネジメント能力を養成するため、学会トップレベルの研究者、管理や経営の実績のある経験者を教授陣に迎え、高度な専門教育を行っています。また、開設以来「社会人対象入試」を実施し、社会人が学ぶ環境も整えています。
<b>法学研究科</b>	<b>法律学専攻 博士課程 (前期・後期)</b>	法学・政治学の研究者を養成するための基礎的な指導を行うとともに、法律についての高度な専門知識を身につけた専門的職業人を養成。多彩で柔軟なカリキュラムを編成し、法曹、税務、会計業務、民・商事法務など幅広い進路に対応します。
<b>総合政策研究科</b>	<b>総合政策専攻 博士課程 (前期・後期)</b>	個人生活を核にした「人間環境コース」、社会生活を核にした「社会システムコース」を設置。「総合性」と「創造性」を重視した教育が最大の特色です。総合的考察と討論を行い、総合的視野から創造性あふれる企画・政策を立案・提言する力を養います。
<b>薬科学研究科</b>	<b>薬科学専攻 修士課程</b>	薬学教育制度の改正により修業年限が6年に延長され、国際的視点に立つ質の高い薬学教育が実施されています。新しい薬学教育制度に適正に対応し、高度な薬科学と医療薬学の教育に取り組むとともに、既卒者のキャリアアップと再教育を支援していきます。
<b>薬学研究科</b>	<b>医療薬学専攻 博士課程</b>	グローバル社会を先導する国際性・創造性を十分に兼ね備え、薬学領域の高度・最先端技術を習得するとともに、薬学・医療薬学全般にわたる学識を深め、それに基づいてさまざまな問題に対して臨機応変かつ柔軟に対応できる薬学研究者・薬剤師を養成します。
<b>歯学研究科</b>	<b>歯科基礎系・歯科臨床系 博士課程</b>	高度な専門知識と優れた臨床能力を持つ人材を求めるとともに、社会的要請に応え、臨床および研究の両面から歯科医師と指導者の養成に取り組んでいます。2003年度から文部科学省の補助を受け、先端的な設備が整った環境で新分野の研究を進めています。

文学部	歴史学科	「日本史」「東洋史」「西洋史」「イスラム圏史」「考古学」の5つのコースで歴史学全体の領域を幅広くカバー。文献の講読、資料の作成、成果の発表という一連の流れによって、主体的に学習・研究を進めていきます。
	日本文化学科	「文化探求現場主義」をモットーに、学外を舞台に文化研究を展開。「言語」「文学」「思想と芸術」「社会と民俗」の4つの領域で日本文化を多角的に学び、体験を通して理解を深めていきます。
	国際文化学科	「英米文化コース」「アジア・オセアニア文化コース」「比較文化コース」の3つのコースを設定。コミュニケーションの道具としての語学力と、異文化への理解を深めていきます。
	グローバル英語学科	将来の目的に対応した「国際ビジネスモデル」「航空・観光・通訳・翻訳モデル」「英語教員資格モデル」という3つの履修モデルを用意。めざす職業に必要な表現や専門用語を集中的に学び、実践的な英語力を身につけます。
	宗教文化学科	「宗教文化」「仏教文化」「禅文化」の3つのコースを設定。宗教に関する幅広い視野を養い、物事について深く考えることのできる人材を育成。宗教文化を通してグローバル社会に対応できる人材を養成します。
心身科学部	心理学科	9つの分野を設定し、幅広い視点から人間のあり方・生き方について研究していきます。実験・実習を重視したカリキュラムで、人間を理解する大切さとそのための具体的なアプローチ方法を学んでいきます。
	健康科学科	「スポーツ科学」「健康開発科学」「言語聴覚科学」の3つのコースを設定。各教員の研究成果（エビデンス）に基づいて、生活スタイルやライフステージに応じた健康指導を行うことができる専門家の養成に力を注いでいます。
	健康栄養学科	生活習慣病が増加する中、医療の現場における管理栄養士の役割はますます高まりつつあります。健康栄養学科では医学的な見地に基づいた教育プログラムによって、「栄養」の面から健康づくりを指導できる人材を育成します。
商学部	商学科 ※ビジネス情報学科は改組のため 2013年4月、商学科に統合します。	現代社会のニーズに応えた「流通・マーケティング」「会計・金融」「ビジネス情報」の3コースを設置。商学の全領域をカバーする幅広い学びから、興味のある分野を中心に専門知識を深めることができます。
経営学部	経営学科 ※現代企業学科は改組のため 2013年4月、経営学科に統合します。	大きく分けて「人」「モノ」「金」の3要素から成り立っているビジネスの社会で、「人」を主なテーマに「組織マネジメント」「生産マーケティング」「会計」の3コースを設置。考える力と組織する力を養成します。
経済学部	経済学科 ※2013年4月設置（開設予定）	現代の経済が抱える課題を解決するため、「理論」「歴史」「政策」の3つの視点から経済にアプローチ。それをベースに、基礎、応用、実践、総合の4つを段階的に理解していくカリキュラムで経済学を体系的に学びます。
法学部	法律学科	将来の目的に対応し「総合コース」「公法コース」「ビジネスコース」の3つのコースを用意。法律の基礎知識を修得することからスタートし、法律に関する学習を積み上げ、その知識を現実のさまざまな問題へと応用していきます。
	現代社会法学科	社会に存在するさまざまな問題に目を向け、問題に対するアプローチ方法を法律学の立場から明らかにしていきます。9つのパッケージを指針に、問題発見・解決能力と法律についての知識・理解を身につけていきます。
総合政策学部	総合政策学科	人間と社会に関わる問題を総合的な視点から考える学科です。「総合政策専攻」「ライフデザイン専攻」の2専攻を設定。「問題」を自分自身の力で発見し分析して解決する力を実践的な学びの中で身につけていきます。
薬学部	医療薬学科	世の中の変化に伴って薬剤師の役割は変化しつつあります。専門領域の確かな知識と幅広い教養、豊かな人間性を育み、あらゆる場面で国民の健康をサポートできる「健康をコーディネートするスペシャリスト」を養成します。
歯学部	歯学科	1961年に私学として戦後初めて設立された歯学部です。築き上げた伝統の上に時代のニーズに対応した教育プログラムと最新の施設・設備を整え、新しい時代に求められる歯科医師の養成に力を注いでいます。
短期大学部	歯科衛生学科	患者さんとのコミュニケーションを通して健康管理をサポートし、歯科医師と連携しながら適切な治療を提供することのできる「臨床能力を持った歯科衛生士」の養成に力を注いでいます。



## 2014年4月、時代が躍動する名古屋都心に 先進の学びを実現する都市型キャンパスが誕生。

### 都心の立地を活かし、地域社会と交流する新拠点。

名古屋史の始まりの象徴である名古屋城に近く、歴史風情を残しながら、中部圏の行政、大手企業、金融機関などが集まる都心エリアに位置する、名城公園キャンパス。この都市性を活かし、行政や企業などと連携する実践的講義や各界の専門家との交流、地域社会と連携したまちづくりなど、新しい学びを実現します。

### ビジネス系3学部を揃え、連携した学びを展開。

2013年4月に開設予定の「経済学部」とともに、「商学部」「経営学部」を、2014年4月、名城公園キャンパスに移転。3学部を連携させた総合的なビジネス教育とともに、行政機関や民間企業、シンクタンクなどと連携した実務教育を充実させ、広い視野と実践力を養い、中部圏を拓く人材を育成します。



# この1年間のクラブ活動成績(個人・団体)

## 個人の部

※学科欄の色つき部分は法学部に在籍する学生を示します

クラブ名	学科	氏名	大会名	成績
弓道部	総合	潮田 駿	東海学生弓道秋季リーグ戦	男子個人：優勝
			東海学生弓道秋季リーグ戦	男子個人：優勝
			全日本学生弓道選手権大会	個人：6位
ソフトテニス部	心理	高橋 美沙希	全日本学生弓道遠的選手権大会	個人：4位
	商	藤田 東喜央	愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会	優勝
	現企	津村 康太	愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会	優勝
硬式野球部	現企	青木 雅彦	西日本大学対抗ソフトテニス選手権大会	シングルス：優勝
	現企	萩原 大起	愛知大学野球春季リーグ戦	最優秀選手賞・最優秀防御率選手賞・ベストナイン(投手)
	現企	大迫 建斗	愛知大学野球春季リーグ戦	ベストナイン(一塁手)
	現企	濱内 優弥	愛知大学野球春季リーグ戦	ベストナイン(外野手)
柔道部	経営	石橋 拓朗	愛知大学野球春季リーグ戦	ベストナイン(外野手)
	歴史	山本 賢太	東海学生柔道冬季優勝大会	I部：優秀選手賞
			愛知県別柔道選手権大会	弐段の部：優勝
			東海学生柔道体重別選手権大会	100kg級：優勝
法律	鈴木 航	愛知県別柔道選手権大会	参段の部：優勝	
健康	渡邊 理也	東海学生柔道体重別選手権大会	優秀選手賞	
歴史	森 勇人	全日本ジュニア柔道体重別選手権愛知県大会	66kg級：3位	
少林寺拳法部	経営	小林 大起	少林寺拳法東海学生大会	立合評価法：優秀賞
スキー部	総合	丸山 隼士	東海学生基礎スキー大会	男子個人：優勝
相撲部	経営	稲原 優太	西日本学生相撲選手権大会	個人：2位
	現社	近藤 哲平	西日本学生相撲個人体重別選手権大会	75kg未満：2位
			全国学生相撲個人体重別選手権大会	75kg未満：ベスト8
馬術部	商	深谷 峻平	愛知学生トライアル競技会	馬場馬術課目A：優勝
			中部学生自馬競技大会	総合馬術：優勝
バレーボール部(男子)	健康	橋本 貴人	東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	リベロ賞
	健康	池田 龍之介	東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	リベロ賞
	総合	山内 晶大	東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	最優秀新人賞
競技ダンス部	健康	田川 貴一	西日本大学バレーボール5学連選抜対抗戦	スパイク賞
	日文	田川 貴一	学生競技ダンス選手権大会学年別戦	総合優勝
	ビジネス	小縁 大貴	中部日本学生競技ダンスラテン選手権	団体総合：優勝
			中部日本学生競技ダンス選手権種目別戦	団体チャチャ、サンバ、ルンバ：優勝
総合	高谷 智史	中部日本学生競技ダンス選手権種目別戦	団体ワルツ：優勝	
ボウリング部	現企	藤井 和真	東海地区年代別ボウリング選手権大会	20代の部：準優勝
ボクシング部	現社	石川 裕起	中部学生ボクシングトーナメント	ライトウェルター級：優勝
	歴史	林 麦人	中部学生ボクシングトーナメント	ウェルター級：優勝
ウエイト	宗教	鈴木 博之	中部学生ボディビル大会	優勝
トレーニング部	健康	飯田 貴光	中部学生パワーリフティング大会	66kg級：優勝/ベストラフター賞
	心理	中村 廉	中部学生パワーリフティング大会	83kg級：優勝
日本拳法部	健康	山本 千夏	中部日本学生拳法選手権大会	女子個人戦：優勝
ヨット部	経営	岡本 淳	中部学生個人ヨット選手権大会	470クラス：優勝
洋弓部	ビジネス	八木 理沙	東海学生アーチェリーインドア選手権大会	総合優勝
			東海学生アーチェリーインドア選手権大会	総合優勝
	ビジネス	植村 優美	東海学生アーチェリー個人選手権大会	女子個人：優勝
			東海学生アーチェリーインドア選手権大会	総合優勝
陸上競技部	総合	畔柳 未央	東海学生アーチェリーインドア選手権大会	総合優勝
水泳部	総合	松山 直樹	東海学生陸上競技春季大会	男子やり投げ：優勝
	経営	磯谷 隼大	愛知県室内選手権水泳競技大会	50mバタフライ：優勝
剣道部	歴史	木村 萌美	中部学生春季室内選手権水泳競技大会	400m個人メドレー：優勝
	法律	細川 慶	全日本仏教系大学剣道大会	個人：3位
卓球部	経営	前山 史帆	全日本仏教系大学剣道大会	個人：3位
	健康	和田 華澄	東海学生卓球各部別大会	女子1・2部ダブルス：優勝
	ビジネス	森島 康平	東海学生卓球各部別大会	男子1・2部ダブルス：優勝
ソフトボール部	現社	中川 優	東海学生卓球各部別大会	男子1・2部ダブルス：優勝
	健康	村主 大輔	東海地区大学リーグ男子ソフトボール大会	ベストナイン
射撃部	健康	南谷 純也	東海地区大学リーグ男子ソフトボール大会	ベストナイン
	ビジネス	松下 純一	中部学生ライフル射撃選手権大会	10mエアライフル立射60発競技：優勝
空手道部	日文	森川 真希	中部学生ライフル射撃三姿勢大会	10mビームライフル立射40発競技：優勝
	健康	二村 智代	秋季東海地区空手道選手権大会	女子個人組手：優勝
			東海地区大学空手道選手権大会	女子個人組手：優勝
			東海学生空手道選手権春季大会	女子個人組手：優勝
心理	杉山 功貴	東海地区大学空手道選手権大会	男子個人組手65kg以上70kg未満：優勝	
バレーボール部(女子)	健康	青柳 京古	日本空手協会東海地区大会	一般男子組手：優勝
居合道部	健康	青柳 京古	VTVカップ	国際大会出場
	現社	小山田 有希	東海学生居合道選手権大会	初段の部：優勝
軟式野球部	歴史	後藤 貴都	全剣連居合愛知県別選手権大会	初段の部：優勝
	ビジネス	小川 晃平	中日大学生軟式野球友好交流大会	最優秀打者
	現企	加藤 正崇	中日大学生軟式野球友好交流大会	最優秀投手

# 10月13日の創立記念式典で表彰を行ったクラブ団体及び個人

(対象期間：平成23年10月1日～平成24年9月30日)

## 団体の部

クラブ名	大会名	成績
弓道部	東海学生弓道選手権大会	Aチーム：優勝
	愛知県下学生弓道選手権大会	女子団体：優勝
ソフトテニス部	愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会	優勝
	愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会	優勝
硬式野球部	愛知・東海・北陸三連盟王座決定戦	優勝
	明治神宮野球大会	準優勝
	愛知大学野球春季リーグ戦	優勝
	全日本大学野球選手権	ベスト8
サッカー部	愛知学生サッカー選手権大会	優勝
スキー部	東海学生基礎スキー大会	優勝
相撲部	全国学生相撲選手権大会	Cクラス：優勝
バレーボール部（男子）	東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	優勝
	愛知大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	優勝
競技ダンス部	学生競技ダンス選手権大会学年別戦	2年生の部：総合優勝
	中部日本学生競技ダンスラテン選手権	優勝
	中部日本学生競技ダンス選手権種目別戦	団体ワルツ：優勝
ウエイトトレーニング部	中部学生ボディビル大会	優勝
日本拳法部	中部日本学生拳法選手権大会	男子団体：優勝
ヨット部	秋季中部学生選手権	団体：優勝
ラグビー部	全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会	優勝
バレーボール部（女子）	愛知大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	優勝
	天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会愛知県ラウンド	優勝
空手道部	東海学生空手道選手権春季大会	女子団体組手：優勝
	日本空手協会東海地区大会	男子団体形、団体組手：優勝 / 女子団体形、団体組手：優勝
	全国空手道選手権大会（団体戦）	男子団体形：5位、男子団体組手：ベスト8
	東海地区大学空手道選手権大会	男子団体形：優勝 / 女子団体組手：優勝
将棋部	中部秋季団体戦	B級：優勝
吹奏楽団	アンサンブルコンテスト愛知大会	トロンボーン4重奏：金賞

※その他、歯学部、薬学部の学生が歯科、薬学生を対象とした各種大会で優秀な成績を取っています。

## 宇城元さん 入賞おめでとございます。

パラリンピック ロンドン大会パワーリフティング競技  
75キロ級で7位入賞した宇城 元（うじろ はじめ）さんを  
インタビューしました。

### ●どうしてパワーリフティング競技を始めたのですか？

きっかけは、大学4年の夏にバイク事故で脊髄を損傷し、リハビリのため車椅子バスケット競技をしつつも団体競技になじめずいたとき、入院中に知人が持参してくれた雑誌に載っていた、【車椅子生活者で、150キロを挙げるパワーリフター】との出会でした。その選手から話を聞き競技のための練習を始めました。

### ●始められたパワーリフティングはどうでしたか？

学生時代は、ボディビル部（現在ウエイトリフティング部）に所属はしていましたが、練習嫌いで、持ち前の『パワー』だけで結果を残していただけ、独学で体の解剖学、栄養学、コンデショニングまで勉強し、試行錯誤を繰り返しながら独自のトレーニング方法を探究しました。

### ●今回ロンドン大会での7位入賞についてどんなことを感じておられますか？

あまりよくないコンディションの中で、『180キロを挙げ』アテネ大会の成績を超えることが出来てよかったと思います。競技を支えてくださった多くの関係者、とりわけ勤務先のご理解ご支援に深く感謝しています。

### ●今後パワーリフティングにどう関わっていかれますか？

日本の身障者スポーツは、リハビリの延長線上の体感機能回復目的のため、競技強豪国では、純粋に競技として位置づけているため、競技者に対する理解と支援活動に依然と差があります。そのためにもっともっと身障者スポーツの理解と発展のため情報を発信していきたいと思っています。



### プロフィール

平成 7年 愛知学院大学 法学部卒業  
 平成 9年 (株)サガミ入社  
 平成10年 パワーリフティング競技を始める  
 平成16年 アテネ大会パワーリフティング 67.5キロ級8位入賞  
 平成24年 6月 愛知学院大学 法学部同窓会表彰  
 平成24年10月 ロンドン大会パワーリフティング 75キロ級7位入賞

私のふるすとは名古屋 駅西の中村公園で、地元が輩出した偉大な人物は名古屋まつりの英傑行列でもお馴染みの豊臣秀吉、加藤清正です。

私の卒業年度は沖縄返還の翌年、昭和48年。当時の大学は現在のように新しく広大な日進キャンパスではなく歴史を感じさせる楠元学舎(本山)にあり、当時は敷地内に一貫教育を目標とした中学・高校が併設されていました。

私が本校を志望したのには三つの動機がありました。10歳上の兄が法学部OB(バレーボール部)であったこと、私の出身校が愛知高校であり仲間が多く進学した事と、家の宗派が曹洞宗で「行学一体・報恩感謝」の教育方針に共感を覚えていたことなどです。更に付け加えれば、昭和44年に地下鉄が名古屋駅～中村公園が開通したことにより大学のある本山まで約30分で乗り換えなしで行けたことも要因でした。

昼の休憩時間に足繁く通った城山神社(末盛城址)境内にある帝冠様式の昭和塾堂は、愛知県が昭和初期に「人づくり」の殿堂として建設したもので、その荘厳な景観は学生時代の懐かしい思い出のひとつです。

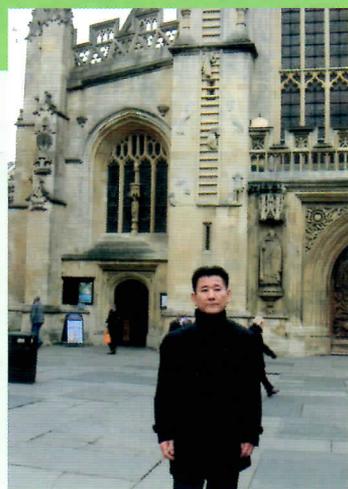
クラブ活動は、高校・大学と7年間剣道部に所属し、厳しさに打ち克つ精神力を鍛えられた事がその後、社会に出てからの営業力(新規開拓・人脈形成・管理職としての統率力)の礎となったことは決して過言ではありません。

私が中学2年の時に父(当時54歳)がガンで他界し、母からの学費援助と授業後のアルバイトで生活費を工面し学校に通っていたので、授業を無断欠席することは決して許されませんでした。現在は法学部同窓会でも一緒に活動をしている服部賢子さん、伊藤照夫さん、加藤英明さんとは40年来の良き学友です。

曹洞宗の開祖・道元禅師の教え「生きている毎日そのものが修行である＝一生修行」を実践し、私を支えて下さる周囲の人間関係に感謝の気持ちを持って逆境を糧に何事にも前向きに、還暦を過ぎた今も「学生の気持ち」で何事にも真摯な気持ちで挑戦し続けています。

今回は、宮本(旧姓 近藤)なつ江さんにバトンタッチします。宮本さん、よろしく!

小川 守(昭和48年卒)



2012年3月 イギリス パースにて

## キャンパス紹介

そだ、さくら、  
見に行こう。



春の恒例行事となった日進キャンパスのさくらとつつじ、さつきの一般公開が今年も開催されます。(3月下旬～5月下旬の指定期間中)

桜の満開時には約1000本が咲き揃い、その光景は正に圧巻です。ソメイヨシノ、シダレザクラをはじめ

め、国の天然記念物、岐阜県本巣市(旧根尾村)の淡墨桜の分け木もあるんですよ。キャンパス内を散策しながら、お気に入りのスポットを見つけてみてはいかがでしょうか。ぽかぽか陽気の中、お弁当を広げれば、その味もまた格別です。

詳細は大学ホームページで告知されますので、皆様お誘い合わせの上、是非お越しください。

## 編集後記

『フェイスブックで、よく見かける《いいね!》ってほんと!いいの?』明察 トシ

愛知学院大学 法学部 同窓会 会報 Vol.71  
2013.1.1

愛知学院大学法学部同窓会 〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12  
TEL: 0561-73-1111 (内線2303) FAX: 0561-74-1410 <http://www.agu-houdoso.org/>